

健康宣言

健康の保持増進は、従業員及びその家族が将来に亘り幸せな生活を送っていくために欠かせないものであり、企業活動にとっても企業の活力を維持し、創造性を発揮する上で重要な経営基盤である。

医療費の増大は、医療システムを支える健康保険組合の保険料増加に繋がり、従業員企業双方に影響を及ぼす。人口減少社会が本格的に到来した国内においては、国民の健康の保持増進は社会の活力維持のためにも大きな課題となっており、企業の健康経営の社会的意義は一層高まっている。

三菱電機グループでは他社に先駆け、会社、健康保険組合の協働事業として、2002年度から三菱電機グループヘルスプラン活動（MHP活動）に取り組み、20年間に亘ってグループ全体で大きな成果を上げてきた。

活動開始時に掲げた経営的意義や理念は社会的にも益々その重要性を増しており、活動の位置づけを高め一層強力に推進していくことが今日求められている。

2022年度からは従業員エンゲージメントを高める健康施策の主軸の一つとして健康経営の確立を図り、誰もが心身の健康維持し、いきいきと働ける職場環境を実現するため、新たな健康経営施策「三菱電機グループ健康経営プラン」を展開している。

新たな活動をはじめとした各種健康経営施策について、三菱電機、関係会社、健康保険組合の関係者が一丸となって強力に推進し、従業員が安心していきいきと働くことができる、安全・健康・快適な職場づくりに取り組む決意を新たにするとともに、将来に亘って健康経営企業グループの実現を図ることをここに宣言する。

2023年4月1日

三菱電機トレーディング株式会社

三菱電機株式会社

三菱電機健康保険組合

三菱電機トレーディング安全衛生管理方針

基本方針：「仕事と健康な生活を両立できる職場環境の実現」

- ①安全衛生管理は経営の根幹であり、『従業員の安全と健康を守ることを全てにおいて優先する』職場風土を構築し、健康経営企業 ※を実現する。
- ②従業員のメンタルヘルスケアに積極的に取り組み、誰もが心身の健康を維持し、いきいきと働ける職場環境を構築する。

※健康経営企業とは：従業員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む企業。

健康満足度・生活習慣6項目：2022年度実績/2023年度目標

目標項目（そう思う・ややそう思うの割合）			2022年度実績	2023年度目標
健康満足度	快食	食欲があり、おいしく食事がとれている人の割合	88.0%	90%以上
	快眠	気持ちよく、ぐっすりと眠れている人の割合	53.3%	80%以上
	快便	便通がよく、おなかがすっきりとしている人の割合	62.0%	80%以上
目標項目（カッコ内の割合）			2022年度実績	2023年度目標
生活習慣	食事	食事の量と質のコントロールができていない（「はい」の回答が9個以上）	45.7%	50%以上
	運動	息が弾み、汗をかく程度の運動を毎週行っている（「はい」と回答した人）	34.1%	50%以上
		1日平均8,000歩以上歩いている（8,000歩以上と回答した人）	19.3%	50%以上
	睡眠	良質な睡眠を得るための行動ができていない（「はい」の回答が8個以上）	45.8%	60%以上
	歯の手入れ	1日3回歯の手入れをしている（「3回以上」と回答）	30.1%	40%以上
		定期的に歯石除去や歯面清掃を受けていない（「はい」と回答）	57.6%	65%以上
喫煙	喫煙しない（「もともと吸わない」又は「吸っていたがやめた」と回答）	80.0%	90%以上	
飲酒	節度ある適度な飲酒（飲まない又は1日平均0～2ドリンクと回答）	55.2%	90%以上	

■健康経営推進体制

三菱電機トレーディングは安全衛生管理部門を中心に、三菱電機健康保険組合、産業医、人事部門等関係部門、各事業所が連携し健康課題に取り組みます。

■安全衛生委員会

全社安全衛生委員会は年に2回、安全衛生委員会は毎月各事業所で実施し、職場の安全衛生管理及び従業員の健康管理に関する事項について協議しています。

■社員代表会議

年に2回実施し、健康施策やメンタルヘルス対策等の実施状況を情報共有しています。

■健康投資施策 取組状況

項目	2021年度	2022年度	2023年度目標
健康診断受診率	100%	100%	100%
ストレスチェック受検率	97.7%	99.0%	98%以上
ウォーキングイベント参加率	39.1%	31.4%	50%以上
運動習慣者比率	—	28.1%	50%以上